

静岡と データサイエンス

静岡の故きを温ねて
新しきを知る

近年、様々なデータを分析し新たな知見を得る
「データサイエンス」の手法は、社会のあらゆる場面で活用されています。
今回は、静岡で蓄積された知識や情報を分析し、将来に役立てる研究調査の事例を紹介します。

講演
1 **フィールド調査から見る
静岡方言 ～井川方言の変化と継承～**

静岡理科大学
情報学部 情報デザイン学科 教授 **谷口ジョイ**

講演
2 **数字いじり≠データサイエンス
～静岡市の人口急減はなぜ？～**

静岡理科大学
情報学部 コンピュータシステム学科 准教授 **山岸 祐己**

11/23 対面開催 受付 13:00～
(土・祝) 13:30 開演

参加
無料

定員

200名様
(定員になり次第締切)

会場

学校法人 静岡理科大学
静岡駅前キャンパス 4階ホール
(静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル)

お申込み

右記QRから
お申込みください
*詳しくは裏面へ



講演内容

講演
1

13:35～14:35

フィールド調査から見る 静岡方言 ～井川方言の変化と継承～

講師

静岡理科大学
情報学部 情報デザイン学科 教授

Taniguchi Joy 谷口ジョイ

旧井川村(現・静岡市葵区井川)で用いられる井川方言は、無アクセントであるなど、周辺の方言とは異なる特徴が見られます。本講座では、話者が激減し、消滅の危機にある井川方言について、フィールド調査から明らかになった特徴や、その変化についてお話しします。また、「まめったい」「～ら」といった静岡全域で用いられる語や表現に関する大規模調査についてもご紹介いたします。

講演
2

14:45～15:45

数字いじり≠データサイエンス ～静岡市の人口急減はなぜ?～

講師

静岡理科大学
情報学部 コンピュータシステム学科 准教授

Yamagishi Yuki 山岸 祐己

国や地方自治体から公開されているデータは多様に存在するものの、意思決定の場面では統計学が適切に活用されていないことがほとんどです。また、民間のウェブサイトで公開されている情報なども、合法的にデータとして取得可能なケースが多々ありますが、それらの取得や活用もまだ一般的ではありません。今回は、これらのようなデータ利活用における問題点を明らかにしつつ、「データ×意思決定」のプロセスの一例として、静岡市市政変革研究会の人口減少対策分科会で行っている分析をご紹介します。

講演時間

- 13:00～13:30 / 受付
- 13:30～13:35 / 開式
- 13:35～14:35 / 第1講演【谷口教授】
- 14:35～14:45 / 休憩
- 14:45～15:45 / 第2講演【山岸准教授】
- 15:45～15:50 / 閉式

お申込み方法

右記QRからお申込みください

申込締切 ▶ 11/21(木)まで

*定員(200名様)になり次第締切となります。
*ご不明な点は下記お問い合わせ内メールアドレスまでお問い合わせください。



会場

SISTグループ 静岡駅前キャンパス 4階ホール

交通アクセス | 〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20

- JR静岡駅北口より……徒歩3分(地下道直通)
- 静岡鉄道新静岡駅けやき通り口より……徒歩4分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
※静岡理科大学 袋井キャンパスでは聴講できませんので、ご注意ください。



□ お問い合わせ